

# 再評価調書

NO. 1

事業名	砂防事業		事業区間	井根谷川 小浜市東相生		
事業目的						
井根谷川は、平成25年9月の台風18号ならびに平成29年10月の台風21号により土砂が流出し、人家等への被害が発生した。 現在も溪流の侵食・荒廃が激しく、溪床には多量の不安定土砂が堆積していることから、今後の豪雨時には土石流の発生する恐れがあるため、早急に砂防堰堤を整備する必要がある。						
全体事業内容						
堰堤工 2基、溪流保全工 163.1m、測量調査設計 1式、用地補償 1式						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度		
事業費（千円）		全体事業費	執行済み額 （R5年度まで）	進捗率 （R5末）	残事業費 （R6以降残額）	備考
予 算 額		483,000	304,490	63.0%	178,510	
財 源 内 訳	国 庫	232,905	147,900		85,005	
	県 他	250,095	156,590		93,505	
費用対効果		10.25（総便益44.18億円 総費用4.31億円）				
事業の進捗状況	R5までの状況	堰堤1基および溪流保全工58.5mが完成				
	R6以降残事業	残る堰堤1基および溪流保全工104.6mを完成させ、人家49戸および国道、市道を保全する。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	4.4億円	4.8億円	・社会経済情勢の変化として労務費、機械経費、材料費、諸経費、消費税の増(0.4億円)			
完成予定年度	令和7年度	令和7年度	・変更なし			
事業を休止した場合の影響						
今後の豪雨等により土石流が発生した場合、下流域の人家等に多大な被害が生じる恐れがある。						
備 考						

# 再評価調書

NO. 2

事業名	砂防事業		事業区間	杉山川 三方上中郡若狭町杉山		
事業目的						
<p>杉山川は、平成25年9月の台風18号により土砂が流出し、人家等への被害が発生した。          現在も溪流の侵食・荒廃が激しく、溪床には多量の不安定土砂が堆積していることから、今後の豪雨時には土石流の発生する恐れがあるため、早急に砂防堰堤を整備する必要がある。</p>						
全体事業内容						
堰堤工 2基、溪流保全工 216m、測量調査設計 1式、用地補償 1式						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度		
事業費（千円）		全体事業費	執行済み額 (R5年度まで)	進捗率 (R5末)	残事業費 (R6以降残額)	備考
予 算 額		409,500	214,900	52.5%	194,600	
財 源 内 訳	国 庫	195,000	102,333		92,667	
	県 他	214,500	112,567		101,933	
費用対効果		3.56(総便益12.9億円 総費用3.62億円)				
事業の進捗状況	R5までの状況	堰堤1基および溪流保全工133mが完成				
	R6以降残事業	残る堰堤1基および溪流保全工83mを完成させ、人家15戸および県道・町道を保全する。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	3.8億円	4.1億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会経済情勢の変化として労務費、機械経費、材料費、諸経費、消費税の増(0.3億円)</li> </ul>			
完成予定年度	令和6年度	令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>堰堤の工事に着手するための施工ヤードの借地交渉が難航し、その解決のために日数を要したため</li> </ul>			
事業を休止した場合の影響						
<p>今後の豪雨等により土石流が発生した場合、下流域の人家等に多大な被害が生じる恐れがある。</p>						
備 考						

# 再評価調書

NO. 3

事業名	道路改良事業		事業区間	一般県道 トリムパークかなづ線 あわら市菅野～市姫1丁目		
事業目的						
<p>一般県道トリムパークかなづ線は、国道8号から金津中部工業団地を經由しJR北陸本線を横断して、あわら市街地の南側を通り、県道福井金津線(嶺北縦貫線)に接続する東西方向のルートの一部を形成する重要な道路である。 JR北陸本線を跨ぐ新たな橋梁を整備することにより、芦原温泉駅付近の通過交通を迂回させ、中心市街地における安全で円滑な交通の確保を図る。</p>						
全体事業内容						
<p>全体延長 760m うち橋梁1橋345m 一般部幅員18.0m(車道幅員11.0m)両側歩道、橋梁部幅員10.0m(車道幅員6.0m)片側歩道</p>						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	令和元年度	令和2年度	令和4年度	令和12年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (R5年度まで)	進捗率 (R5末)	残事業費 (R6以降残額)	備考
予 算 額		4,500,000	215,250	4.8%	4,284,750	
財 源 内 訳	国 庫	1,928,570	92,250		1,836,320	
	県 他	2,571,430	123,000		2,448,430	
費用対効果		1.59(総便益52.3億円 総費用32.9億円)				
事業の進捗状況	R5までの状況	令和2年度から事業用地の買収を進めており、これまでに約7割の用地を取得している。				
	R6以降残事業	残る用地の買収を進めるとともに、道路改良工事を進め事業効果の早期発現を図る。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	40.0億円	45.0億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会経済情勢の変化として労務費、機械経費、材料費、諸経費、消費税の増(5.0億円)</li> </ul>			
完成予定年度	令和8年度	令和12年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>用地交渉の難航により用地取得が遅延したため</li> </ul>			
事業を休止した場合の影響						
<p>北陸新幹線JR芦原温泉駅付近の通過交通を迂回させることができず、中心市街地の安全で円滑な交通を確保することができない。</p>						
備 考						

# 再評価調書

NO. 4

事業名	総合流域防災事業		事業区間	一級河川 服部川 越前市新堂町～朽飯町		
事業目的						
<p>服部川は、一級河川鞍谷川の支川であり、下流部に人家が密集している。平成16年7月福井豪雨では、浸水家屋776戸、浸水面積202haと甚大な被害となった。そのため、河道拡幅と河道の一部の付け替えを組み合わせることにより流下能力を現況の約70m<sup>3</sup>/sから160m<sup>3</sup>/sに向上させ、水害から住民の生命と財産を守ることを目的とする。</p>						
全体事業内容						
<p>全体延長 L=2,300m 河道拡幅区間 L=1,530m、捷水路建設区間 L=770m、用地補償 1式</p>						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	令和元年度	令和元年度	令和2年度	令和20年度		
事業費（千円）		全体事業費	執行済み額 (R5年度まで)	進捗率 (R5末)	残事業費 (R6以降残額)	備考
予 算 額		4,300,000	722,750	16.8%	3,577,250	
財 源 内 訳	国 庫	2,047,619	344,167		1,703,452	
	県 他	2,252,381	378,583		1,873,798	
費用対効果		1.04(総便益37.1億円 総費用35.6億円)				
事業の進捗状況	R5までの状況	全体延長2.3kmのうち、下流から0.5kmまでの改修が完了している。				
	R6以降残事業	引き続き、下流から河道拡幅を進めるとともに、人家連坦区間の用地取得を進めていく。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	39.0億円	43.0億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会経済情勢の変化として労務費、機械経費、材料費、諸経費、消費税の増(4.0億円)</li> </ul>			
完成予定年度	令和20年度	令和20年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>変更なし</li> </ul>			
事業を休止した場合の影響						
<p>事業区間は、人家連担部において河道が蛇行し、両岸に家屋が近接しているため、洪水による被害が及ぶほか、地形的にも広い範囲に浸水が想定されることから、住民生活上、大きな影響があり安全性が確保できない。</p>						
備 考						

# 再評価調書

NO. 5

事業名	基幹河川改修事業		事業区間	一級河川 竹田川 坂井市三国町汐見～あわら市番田		
事業目的						
竹田川は、一級河川九頭竜川の支川で、坂井市丸岡町からあわら市街地を経て、坂井市三国町で九頭竜川に合流する河川である。現況の流下断面が不足していることから、流下能力を650m <sup>3</sup> /sから1,200m <sup>3</sup> /sに高めることで、水害から住民の生命と財産を守ることを目的とする。						
全体事業内容						
全体延長 L=6,400m 築堤護岸工 L=6,400m、排水機場 3箇所、橋梁 6橋、用地補償 1式						
事業計画	事業採択年度		用地着手年度	工事着手年度		完成予定年度
	昭和50年度		平成4年度	平成8年度		令和20年度
事業費（千円）		全体事業費	執行済み額 （R5年度まで）	進捗率 （R5末）	残事業費 （R6以降残額）	備考
予 算 額		30,240,000	22,717,851	75.1%	7,522,149	
財 源 内 訳	国 庫	13,393,907	9,811,931		3,581,976	
	県 他	16,846,093	12,905,920		3,940,173	
費用対効果		7.95（総便益5,630.6億円 総費用708.1億円）				
事業の進捗状況	R5までの状況	全体延長6.4kmのうち、下流から兵庫川合流点までの約1.5kmについて引堤が完了している。また、兵庫川合流点から水屋橋下流までの河川用地買収が完了している。				
	R6以降残事業	兵庫川合流点から水屋橋下流までの区間について、左岸引堤および竹松橋架替を進めていく。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	260.0億円	302.4億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堤防盛土材の粒度調整の追加による増(25.8億円)</li> <li>・竹松橋架替えに係る軟弱地盤対策の追加による増(11.7億円)</li> <li>・社会経済情勢の変化として労務費、機械経費、材料費、諸経費、消費税の増(4.9億円)</li> </ul>			
完成予定年度	令和10年度	令和20年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹松橋架替えに係る関係者協議が難航したため。</li> <li>・堤防盛土材の粒度調整および竹松橋架替えに係る軟弱地盤対策が追加で必要となり、工程の見直しを行ったため。</li> </ul>			
事業を休止した場合の影響						
事業を休止した場合、坂井市役所三国総合支所、消防本部等の防災拠点、えちぜん鉄道、国道305号等の広域交通施設および病院、幼稚園等の災害弱者施設、坂井市三国町、あわら市の大部分の住宅等に対し、洪水による被害が及ぶ。地元からも早期改修を望まれており、住民生活上、大きな影響があり安全性が確保できない。						
備 考						

# 再 評 価 調 書

NO. 6

事業名	基幹河川改修事業		事業区間	一級河川 兵庫川 坂井市三国町楽円～坂井市下兵庫		
事業目的						
兵庫川は、一級河川竹田川の支川で、坂井平野の集落間をぬって流れる河川である。現況の流下断面が不足していることから、流下能力を88m <sup>3</sup> /sから130m <sup>3</sup> /sに高めることで、水害から住民の生命と財産を守ることを目的とする。						
全体事業内容						
全体延長 L=6,840m 築堤護岸工 L=6,840m、橋梁 10橋、堰 2基、用地補償 1式						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成元年度	平成2年度	平成2年度	令和10年度		
事業費（千円）		全体事業費	執行済み額 （R5年度まで）	進捗率 （R5末）	残事業費 （R6以降残額）	備考
予 算 額		12,220,000	5,437,000	44.5%	6,783,000	
財 源 内 訳	国 庫	4,546,190	2,589,048		1,957,142	
	県 他	7,673,810	2,847,952		4,825,858	
費用対効果		1.20（総便益252.4億円 総費用211.1億円）				
事業の進捗状況	R5までの状況	全体延長6.8kmのうち、下流から約6.3kmまでの区間は完了、約6.3kmから6.8kmまでの区間は左岸築堤盛土が完了している。				
	R6以降残事業	残る約6.3kmから6.8kmまでの区間において、河道掘削および右岸築堤盛土、橋梁の架替等を進めていく。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	117.0億円	122.2億円	・社会経済情勢の変化として労務費、機械経費、材料費、諸経費、消費税の増(5.2億円)			
完成予定年度	令和10年度	令和10年度	・変更なし			
事業を休止した場合の影響						
事業を休止した場合、多くの住宅、学校、幹線道路等に対し、洪水による被害が及ぶ。地元からも早期改修を望まれており、住民生活上、大きな影響があり安全性が確保できない。						
備 考						

# 再評価調書

NO. 7

事業名	基幹河川改修事業		事業区間	一級河川 江端川 福井市江守の里～太田町		
事業目的						
<p>江端川は、九頭竜川水系一級河川日野川の支川で福井市南部の市街地を流れる河川である。流下能力を現況の70m<sup>3</sup>/sから180m<sup>3</sup>/sに高めることにより、水害から住民の生命と財産を守ることを目的とする。</p>						
全体事業内容						
<p>全体延長 L=5,709m 掘削築堤護岸工 L=5,709m、橋梁 17橋、排水機場 1式、用地補償 1式</p>						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	昭和52年度	昭和52年度	昭和52年度	令和15年度		
事業費（千円）		全体事業費	執行済み額 （R5年度まで）	進捗率 （R5末）	残事業費 （R6以降残額）	備考
予 算 額		37,300,000	26,512,900	71.1%	10,787,100	
財 源 内 訳	国 庫	17,761,905	12,625,190		5,136,715	
	県 他	19,538,095	13,887,710		5,650,385	
費用対効果		1.28(総便益1894.2億円 総費用1478.5億円)				
事業の進捗状況	R5までの状況	全体延長5.7kmのうち、下流から江端町までの約3.7kmが完了している。また、そこから、高橋川との合流部までは、左岸のみ完了している。				
	R6以降残事業	引き続き用地買収を進めるほか、揚水機場などの補償工事を実施しつつ、河道拡幅を延伸し 令和15年度の完成を目指す。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	361.9億円	373.0億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会経済情勢の変化として労務費、機械経費、材料費、諸経費、消費税の増(11.1億円)</li> </ul>			
完成予定年度	令和10年度	令和15年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>補償交渉の難航により、工事着手が遅延したため。</li> <li>現道全面通行止めによる河北橋の架替えが困難となり、工程を見直したため。</li> </ul>			
事業を休止した場合の影響						
<p>事業を休止した場合、治水上の安全性が確保できず、多くの住宅・学校・病院・福祉施設・幹線道路等が洪水による被害を受ける。また、近年、度重なる豪雨浸水被害が続発しており、地域住民からも事業促進の声が高く、住民生活上、大きな影響があり安全性が確保できない。</p>						
備 考						

# 再評価調書

NO. 8

事業名	基幹河川改修事業		事業区間	一級河川 荒川 福井市勝見1丁目～吉田郡永平寺町松岡吉野		
事業目的						
<p>荒川は、一級河川足羽川の支川であり、福井市東部の市街地を流れる河川である。現況の流下断面が不足していることから、流下能力を20m<sup>3</sup>/sから50m<sup>3</sup>/sに高めることで、水害から住民の生命と財産を守ることを目的とする。</p>						
全体事業内容						
<p>全体延長 L=10,600m 築堤護岸工 L=10,600m、遊水地 2箇所、橋梁 30橋、樋門・樋管 25基、用地補償 1式</p>						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	昭和35年度	昭和35年度	昭和35年度	令和20年度		
事業費（千円）		全体事業費	執行済み額 (R5年度まで)	進捗率 (R5末)	残事業費 (R6以降残額)	備考
予 算 額		28,430,000	15,244,250	53.6%	13,185,750	
財 源 内 訳	国 庫	13,538,095	7,259,167		6,278,928	
	県 他	14,891,905	7,985,083		6,906,822	
費用対効果		1.38(総便益1,879.2億円 総費用1,358.1億円)				
事業の進捗状況	R5までの状況	全体延長10.6kmのうち、下流から約5.2kmまでの改修が完了している。また、流下能力不足に対応するため、上流遊水地を整備し、上流遊水地から重立橋までの約0.5kmと中部縦貫自動車道の整備に合わせた約0.3kmの改修が完了している。				
	R6以降残事業	上流部の流下断面が不足している区間において、河道拡幅や橋梁架け替えを進めていく。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	270.0億円	284.3億円	・社会経済情勢の変化として労務費、機械経費、材料費、諸経費、消費税の増(14.3億円)			
完成予定年度	令和15年度	令和20年度	相続人多数の用地において、交渉が難航しているため。			
事業を休止した場合の影響						
<p>中下流の河道の拡幅および下流端の水門改築により、浸水被害の発生頻度は減少しているものの、上流部では大雨による浸水被害が度々発生している。住民からも早急な河川改修および遊水地の供用が望まれている。このような中、事業を休止した場合、住民生活上、洪水による大きな影響があり安全性が確保できない。</p>						
備 考						



# 再評価調書

NO. 9

事業名	基幹河川改修事業		事業区間	一級河川 底喰川 福井市地藏堂町～大願寺1丁目		
事業目的						
<p>底喰川は、一級河川日野川の支川で福井市中心部を流れる河川である。現況の流下断面が不足していることから、流下能力を10m<sup>3</sup>/sから36m<sup>3</sup>/sに高めることで、水害から住民の生命と財産を守ることを目的とする。</p>						
全体事業内容						
<p>全体延長 L=5,880m 掘削護岸工 L=5,880m、橋梁 36橋、用地補償 1式</p>						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	昭和54年度	昭和54年度	昭和54年度	令和20年度		
事業費（千円）		全体事業費	執行済み額 （R5年度まで）	進捗率 （R5末）	残事業費 （R6以降残額）	備考
予 算 額		32,380,000	25,264,800	78.0%	7,115,200	
財 源 内 訳	国 庫	15,419,047	12,030,857		3,388,190	
	県 他	16,960,953	13,233,943		3,727,010	
費用対効果		1.99（総便益1,835.2億円 総費用920.0億円）				
事業の進捗状況	R5までの状況	全体延長5.88kmのうち、下流から約4.48kmまでの改修を完了している。				
	R6以降残事業	今後も用地買収を先行させつつ、河道拡幅および橋梁の架替えを進めていく。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	310.0億円	323.8億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会経済情勢の変化として労務費、機械経費、材料費、諸経費、消費税の増（13.8億円）</li> </ul>			
完成予定年度	令和10年度	令和20年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>町屋橋架替えにあわせて、道路の交差点改良を同時に実施することとなったため。</li> <li>住民生活への影響を考慮し、複数橋梁の同時架替えの工程を見直したため。</li> </ul>			
事業を休止した場合の影響						
<p>未改修区間として密集した市街地部が約1.4km残っており、浸水被害が多発している。特に上流部においては、早期の改修を求める声は大きい。このような中、事業を休止した場合、住宅・学校・鉄道・病院・幹線道路等に対し、洪水による被害が及び、市民生活上重大な影響があり、安全性が確保できない。</p>						
備 考						

# 再評価調書

NO. 10

事業名	海岸環境整備事業		事業区間	敦賀港海岸 敦賀市 赤崎		
事業目的						
<p>敦賀港海岸赤崎地区は、北陸自動車道敦賀I. Cおよび一般国道8号から近く交通の便が良いところから、中京・関西方面の海水浴客で賑わっていた。しかし、海浜侵食によって海浜幅が減少し、背後民家への越波被害や駐車場、利便施設の不足による海水浴場としての魅力低下が問題となっている。</p> <p>離岸堤、護岸などの海岸保全施設や駐車場、サニタリー棟などの背後地の整備を行い、越波被害の防止や海水浴場としての魅力回復を図る。</p>						
全体事業内容						
<p>全体延長L=1,200m 離岸堤 L=440m 突堤 5基 護岸 L=1,294.5m 人工海浜(養浜) V=289,000m<sup>3</sup></p>						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	昭和61年度	-	昭和61年度	令和11年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (R5年度まで)	進捗率 (R5末)	残事業費 (R6以降残額)	備考
予算額		8,350,000	7,749,062	92.8%	600,938	
財源内訳	国庫	2,783,333	2,583,021		200,313	
	県他	5,566,667	5,166,041		400,625	
費用対効果		1. 32(総便益316. 2億円 総費用240. 4億円)				
事業の進捗状況	R5までの状況	鞠山(H7)・田結(H15)・赤崎C工区(H29)については整備が完了し、海水浴場として供用している。				
	R6以降残事業	引き続き、赤崎D工区については越波防止対策の護岸整備を行う。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	83. 5億円	83. 5億円	・変更なし			
完成予定年度	令和6年度	令和11年度	・藻場減少に伴うモニタリング調査および施工箇所 の船舶移設に関わる協議に時間を要したため、事業期間の5年延長が必要となった。			
事業を休止した場合の影響						
<p>高波浪時に越波被害が発生し、住民生活に多大な影響を及ぼす恐れがある。 また、海水浴場として安全で快適な海浜利用が困難となる。</p>						
備考						

# 再評価調書

NO. 11

事業名	砂防事業		事業区間	北口川 三方上中郡若狭町世久見		
事業目的						
北口川は、平成25年9月の台風18号により土砂が流出し、人家等への被害が発生した。 現在も溪流の侵食・荒廃が激しく、溪床には多量の不安定土砂が堆積していることから、今後の豪雨時には土石流の発生する恐れがあるため、早急に砂防堰堤を整備する必要がある。						
全体事業内容						
堰堤工 3基、測量調査設計 1式、用地補償 1式						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	令和3年度	令和5年度	令和6年度	令和13年度		
事業費（千円）		全体事業費	執行済み額 （R5年度まで）	進捗率 （R5末）	残事業費 （R6以降残額）	備考
予 算 額		619,500	73,950	11.9%	545,550	
財 源 内 訳	国 庫	295,000	35,214		259,786	
	県 他	324,500	38,736		285,764	
費用対効果		2.57（総便益12.05億円 総費用4.69億円）				
事業の進捗状況	R5までの状況	測量調査設計および用地補償が完了				
	R6以降残事業	堰堤3基を完成させ、人家11戸、および町道を保全する。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	4.2億円	6.2億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>二つの溪流の合流点に堰堤を建設する計画だったが、地質調査の結果、堰堤基礎部に軟弱地盤があることが判明したことから堰堤位置を見直し、それぞれの溪流に堰堤を1基ずつ整備することによる増（1.7億円）</li> <li>社会経済情勢の変化として労務費、機械経費、材料費、諸経費の増（0.3億円）</li> </ul>			
完成予定年度	令和10年度	令和13年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>地質調査の結果、堰堤の基礎部に軟弱地盤があることが判明したため、堰堤位置の見直しに伴う調査および設計に期間を要したため</li> <li>堰堤位置の見直しに伴い、堰堤が1基増となり、その工事施工に期間を要するため</li> </ul>			
事業を休止した場合の影響						
今後の豪雨等により土石流が発生した場合、下流域の人家等に多大な被害が生じる恐れがある。						
備 考						

# 再評価調書

NO. 12

事業名	道路改良事業		事業区間	一般国道 365号 南条郡南越前町板取		
事業目的						
<p>一般国道365号は北陸自動車道や国道8号と共に福井県と滋賀県を結ぶルートのひとつとして、両県の交流促進はもとより、異常気象時におけるリダンダンシー確保のために重要な道路である。</p> <p>当該区間は線形不良箇所が多く幅員も狭小であることから、道路線形の改良や車道の幅を広げることにより、県境部における安全で円滑な交通の確保を図る。</p>						
全体事業内容						
<p>全体延長 1,000m 幅員 9.0m(車道幅員6.0m)歩道なし</p>						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成28年度	平成30年度	令和元年度	令和8年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (R5年度まで)	進捗率 (R5末)	残事業費 (R6以降残額)	備考
予算額		3,100,000	466,295	15.0%	2,633,705	
財源内訳	国庫	1,328,571	199,840		1,128,731	
	県他	1,771,429	266,455		1,504,974	
費用対効果		1.42(総便益193.2億円 総費用135.6億円)				
事業の進捗状況	R5までの状況	令和4年度までに全ての用地を取得しており、令和4年8月の大雨により被災した箇所 の災害復旧とあわせて工事を進めている。				
	R6以降残事業	残る区間の道路改良工事を進め、事業効果の早期発現を図る。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	30.0億円	31.0億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会経済情勢の変化として労務費、機械経費、材料費、諸経費、消費税の増(2.0億円)</li> <li>事業箇所の一部を災害復旧事業で実施するため当事業から減額(-1.0億円)</li> </ul>			
完成予定年度	令和6年度	令和8年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>用地交渉の難航により用地取得が遅延したため</li> <li>令和4年8月の大雨により被災し、工程の見直しを行ったため</li> </ul>			
事業を休止した場合の影響						
<p>当該区間における線形不良箇所や幅員狭小箇所が改良されず、県境部における安全で円滑な交通の確保ができない。</p>						
備考						

# 再評価調書

NO. 13

事業名	ダム建設事業		事業区間	吉野瀬川ダム 越前市広瀬町		
事業目的						
洪水調節:ダム地点の計画高水流量200m <sup>3</sup> /sのうち175m <sup>3</sup> /sの洪水調節を行い、水害から住民の生命と財産を守る。流水の正常な機能維持:既得取水の安定化および良好な河川環境の保全等のための流量を確保する。						
全体事業内容						
重力式コンクリートダム(ダム高 H=58.0m 堤頂長 L=190.0m 堤体積 V=137,170m <sup>3</sup> 総貯水容量 V=7,800千m <sup>3</sup> 有効貯水容量 V=6,800千m <sup>3</sup> 湛水面積 A=0.51km <sup>2</sup> ) 付替県道 L=5,349m 付替林道 L=5,000m 水没等移転戸数 N=37戸						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成3年度	平成12年度	平成13年度	令和8年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (R5年度まで)	進捗率 (R5末)	残事業費 (R6以降残額)	備考
予 算 額		45,100,000	33,281,567	73.8%	11,818,433	
財 源 内 訳	国 庫	22,679,741	16,785,525		5,894,216	
	県 他	22,420,259	16,496,042		5,924,217	
費用対効果		6.18(総便益4,728.0億円 総費用764.9億円)				
事業の進捗状況	R5までの状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年度までに水没等による家屋移転は37戸すべて完了</li> <li>付替県道は94.5%完了、平成30年度に武生米ノ線が全線供用開始</li> <li>平成23年度に国土交通大臣の要請により、ダム事業の検証に係る検討を行い、現計画を継続とする方針を決定</li> <li>令和3年3月にダム本体工事契約</li> <li>令和5年4月からダム本体コンクリート打設開始</li> </ul>				
	R6以降残事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>重力式コンクリートダム 1式</li> <li>付替県道 L=292m</li> <li>付替林道 L=990m</li> </ul>				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	390.0億円	451.0億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>現地掘削結果に基づくダム本体の法面对策の変更(12.4億円)</li> <li>現地掘削結果に基づくダム本体の基礎処理の追加(3.2億円)</li> <li>工期延伸に伴う仮設備費の増(2.2億円)</li> <li>現地掘削結果に基づく付替道路の法面对策の変更(5.0億円)</li> <li>地権者交渉による土捨場の変更(7.9億円)</li> <li>廃棄物の有効活用によるコスト縮減(-1.0億円)</li> <li>社会経済情勢の変化として材料費・労務費・機械経費・諸経費の増(31.3億円)</li> </ul>			
完成予定年度	令和7年度	令和8年度	働き方改革を反映したダム工事積算基準に基づく適正な工期の確保による工程延長			
事業を休止した場合の影響						
事業を休止した場合、住宅・学校・病院・幹線道路・鉄道などが集中する越前市街地を含む吉野瀬川流域において、洪水に伴う被害が想定され、住民生活に大きな影響を及ぼす恐れがある。						
備 考						